



Kiwaniis®

H I R O S H I M A

13F, RIHGA ROYAL HOTEL HIROSHIMA 6-78 MOTOMACHI NAKA-KU HIROSHIMA, 730-0011 JAPAN
Tel 082-227-5315 Fax 082-223-0756 E-mail:hiroshima@japankiwanis.or.jp

第 1 1 5 1 回例会（第 48 回キワニス社会公益賞贈呈式）

日 時 : 令和 2 年 8 月 2 7 日 (木) 1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 3 5
場 所 : リーガロイヤルホテル広島 瀬戸の間
出席者 : 5 2 名

(受賞者および関係者 3 名 来賓 2 名 ゲスト 1 名 広島会員 46 名)

- 三谷会長のゴングで開会
- キワニス憲章朗読 寺田広報委員
- お客様のご紹介

第 48 回キワニス社会公益賞受賞者	宮 田 希 子 様
第 48 回キワニス社会公益賞受賞者	平 本 眞 弓 様
受賞者平本眞弓様のご家族	平 本 元 様
来賓 広島県健康福祉局長	田 中 剛 様
来賓 広島市健康福祉局次長	谷 康 宣 様
ゲスト 岡山キワニスクラブ事務局長	井ノ本 瑞 恵 様

- 新入会員にバッジの贈呈

深 町 心 一 (ふかまち しんいち) 氏 株式会社広島銀行 取締役常務執行役員
生年月日: 昭 39.12.24
紹介者: 小尻氏の後任

挨拶…広島銀行の深町です。顔を覚えていただきたいということでマスクを取らせていただきます。本日お仲間に加えていただきまして本当にありがとうございます。

昭和 62 年に広島銀行に入りまして、前任地が尾道支店長で、広島銀行発祥の地で勤務しておりました。社会奉仕活動ではその頃は尾道ロータリーの方で活動させていただいておりました。

今銀行では前任の小尻の後ということで人事、総務、リスク管理とコンプライアンスということで、あんまり面白いものではないんですがそちらを担当しております。たぶん広島銀行に絡む比較的年齢の高い方に聞いていただくと私のことをご存じではないかと思うんですが、広銀で一番体が弱く、一滴も酒が飲めない、なのにしぶとく生き残る、ということでございます。昨今多様性と

という言葉があるようですが、ダイバーシティという中で 24 時間素面の人間が要するという枠で、どうにか経営の一面に携わらせていただいているんじゃないかと思います。

非常に若輩者でございまして至らないところが多々あると思いますが、頑張ってやって参りますので、よろしくお願いします。

○ 8月誕生会員の紹介

金田 佐藤 小川

○ 事務局報告

1. 次回例会のご案内

- ・ 日 程：9月10日（木）12：30～13：30 リーガH 32階ダイヤモンド
- ・ 講 師：小川 司 徳 副会長（一般社団法人中国電気保安協会 理事長）
- ・ テーマ：当クラブ設立 50 周年記念事業について報告

○ 8月誕生会員エピソード

金田会員（中電プラント）…今年の干支は庚子(かのえね or こうし)であり年男にあたります。干支では「新しいことを始めると上手くいく、大吉」だそうです。しかし、日本も世界も新型コロナウイルスで大きく時代や価値観が変わる年になりそうです。これを災いとだけとらえず新しい時代を迎える痛みとしてとらえたいものです。年度初めにはプールが閉鎖になり旅行もプールにも行けず鬱々とした日が続いていましたが6月からはプールが再開したので週に3～4回は涼みがてら泳ぎに精を出しています。水泳レッスンにも時々、参加しています。お陰かどうかわかりませんがコロナにもかかわらず元気に誕生日を迎えました。

広響のコンサートは人数に制限があるものの再開しました。当初は無観客コンサートをインターネット配信していましたが、やはり演奏会形式でないと良さは伝わらないことを痛感しました。再開したものの聞きにおいでになる方は少ないのが現状です。是非、コロナ対策をしてお出かけ戴きますようお願いいたします。

コロナに負けず、大切な文化を次世代につなげるのも我々の義務だろうと思います。

キワニスのメンバーをはじめ皆様様がパンデミックや自然の苛烈さを乗り越えて幸せな世界を迎えることが出来るよう願っています。

佐藤会員（広島県環境保健協会）…今年もこうして誕生日をお祝いいただいて有難うございます。自分では還暦をこの間通過したぐらいにしか思っていなかったのですが気が付けば古希を迎える年になっていました。

妻も7月29日にすでに古希を迎えており、五黄（ごう）寅の獅子座生まれの妻も年を取ったのか五黄の寅の乙女座生まれの私に少し優しくなった気がします。

この盆休みに、長女と次女とその旦那の3人が、二人の古希の祝いをしてくださいました。妻は何回か利用したことがあるらしいのですが、私は初めての「石庭」という割烹旅館で、宮島を正面に、眼下に大きな石と立派な鯉が泳ぐ池を配した庭を眺めながら、紫のちゃんちゃんこを着せてもらい、約3時間おいしい料理とおいしいお酒そして楽しい会話、一生の思い出になる素晴らしいひと時を過ごさせてもらいました。子供たちに感謝です。

つい先日知ったのですが、8月24日は「愛酒の日」なのだそうです。これは若山牧水が8月24日生まれであり、1日1升の酒を飲むほどこよなく酒を愛していたことからこの日を「愛酒の日」としたそうです。

私が酒を嫌いでないのは、8月24日生まれだからなのだと妙に納得したところです。これからもこよなく日本酒を愛し、人を愛し、生きていることに感謝しながら残された時間を楽しみたいと思っています。

小川会員（中国電気保安協会）…誕生日をお祝いいただきありがとうございます。

今年に入ってからからはコロナ感染拡大を助長するような振る舞いは許されないと行動を自粛しております。アウトドアの活動は苦手なので、自宅にこもる時間が長くなっているわけですが、家庭内での何気ない会話が次第にとげとげしいものになっていく変化を十分に体感させてもらっています。

一方で、テレワークやテレビ会議など「便利」な手段をやたら絶賛して、「自宅を仕事場に変えて 人の憩いの場をなくしても構わないというような風潮」や「人と人が直接対面して話をする、五感を通じての交流には意味がないと切り捨てるような風潮」が広まっていくことに対しては強い違和感を感じているところです。

最近、コロナを理由に自粛を続けている間に、長年お世話になっていた小料理屋さんが閉店されました。誠に残念で申し訳なく思いながら、早くワクチンなど有効な対処法が確立され、人と人が自在に交流できる環境が整う事を祈っている日々です。

橋本会員（東洋建設）…今年8月14日で63歳となりました。

広島に赴任し6年目を迎えています。今年は新型コロナ感染が世界中を駆け巡り、その予防対策のために、人と人との交流や移動も自粛を要請され、新しい生活様式という形が今となっては当たり前になりました。毎日報道される感染者の数で一喜一憂する日本列島、無症状の方も多く、感染経路がわからない中で、感染したというだけで罪悪感されバッシングを受ける、なにか寂しい日本になったなと私は思います。早くワクチンなるものの登場を願い、元通りの生活に戻ることを願うばかりです。

そんな日本の状況下でも、我が家にはうれしいことが一つできました。おととしの10月に1人目の孫が生まれたのですが、今年の10月にも2人目が生まれることです。今は千葉に帰省するたびに孫に会えるのが唯一の楽しみです。暑い夏がまだま

だ続けていますが、コロナにも負けず、健康な体を維持することが大事だなと思う今日この頃です。

第 48 回キワニス社会公益賞贈呈式

【式次第】

社会公益賞贈呈式開始

挨拶 広島キワニスクラブ会長 三谷 敏治

選考経過報告 広島キワニスクラブ社会公益委員長 佐藤 均

賞状・金一封 贈呈

受賞者 宮田 希子（みやた まれこ） 様

受賞者 平本 眞弓（ひらもと まゆみ） 様

来賓挨拶 広島県健康福祉局長 田中 剛 様

来賓挨拶 広島市健康福祉局次長 谷 康宣 様

受賞者挨拶 受賞者 宮田 希子 様

受賞者挨拶 受賞者 平本 眞弓 様

社会公益賞贈呈式終了

【報告・挨拶】

第 48 回キワニス社会公益賞選考経過報告…佐藤均広島キワニスクラブ社会公益委員長

- 令和 2 年 4 月に広島県と広島市に候補者推薦依頼。広島県から 2 件、広島市から 1 件の推薦をいただく
- 令和 2 年 7 月 9 日に広島キワニスクラブ社会公益委員会を開催、下記 2 名の受賞者を決定
 - ◇ 宮田希子氏（三原市大和町）…地域の高齢者支援や障害者の社会参加活動
 - ◇ 平本眞弓氏（広島市安佐南区）…障害者の生きがいづくり活動
- 令和 2 年 7 月 28 日に和木地域ふれあい交流センターで宮田希子様を訪問
三原市大和町和木にある、廃校になった旧和木小学校の校舎を、新国立競技場を設計した隈研吾さんのプロデュースにより改築して作られた「和木地域ふれあい交流センター」において川本委員、わたくし佐藤と事務局の穂下の 3 人で和木地域活性化実行委員会事務局長であり、私の前職場での先輩である加賀美様の同席のもと宮田様から直接お話を伺うことが出来ました。

当日は元校長室だったサロンで加賀美様が入れてくださったコーヒーを飲みながら、18 年に及ぶ宮田様の活動を聞かせていただきました。まず、平成 13 年に大和町民生委員児童委員に委嘱され、平成 25 年には広島県民生委員児童委員協議会の代議員に、平成 28 年には三原市民生委員児童委員連絡協議会会長など令和元年 11 月に退任されるまでの 18 年間民生委員・児童委員として住民のために活動されてきました。と同時に平成 13 年から地域ボランティア「和木卯の花会」に参加され、地域のグラウンドのトイレ掃除や一人暮らし高齢者に対する配食サービスや見守

りなどの活動を、平成 24 年 4 月には精神福祉ボランティア「あいあい」の会長として精神障害者の社会参加支援、平成 27 年には「高齢者が安全でいきいきと暮らせる地域づくり」をめざして設立された常設サロン「和木地域お茶の間サロン」の部長に、今年の 1 月からは介護予防サロン「カフェきらきら」世話人代表として、地域の障害者、高齢者を支援する活動を続けておられ、まさに地域になくてはならないリーダーです。

● 令和 2 年 7 月 29 日に平本眞弓様のご自宅を訪問

アストラムライン長楽寺駅そばの川のせせらぎとさわやかな風が心地よくさせてくれるご自宅に、川本委員と私と事務局の穂下がお邪魔して平本様からお話を伺いました。まず、冷たいパイナップル入りの紅茶をいただきましたが、これは、広島市内の紅茶専門店で買って来たお茶がいまいちであったので、ご自身がパイナップルを入れ工夫された一品との説明をお聞きし、さすが料理を長年教えておられる方のこだわりのアイ스티ーだとおいしくいただきました。

平本様は 20 代前半の頃パンとお菓子づくりを習い始めた時の講師の先生の手伝いを頼まれたのがきっかけで料理の道に入られたそうで、その講師のもとで 7 年間ほとんど無給で手伝いながら技術を身につけられました。しかし、いつまでも手伝いだけでは生活できないと思い、自宅で料理教室を始められ、その後お母様の後押し、お姉さま協力により古市のマンションの 1 階で「サロンドフルール」という教室を始められました、と同時に、広島市身心障害者福祉センター開設当時の昭和 58 年から知的障害者対象の料理教室（グッドラッククッキング、わくわくクッキングなど）20 年に渡り、また視覚障害者対象の料理サークル（クッククック）を 10 年以上に渡り面倒を見てこられています。全障害者を対象にパン教室、アフターヌーンティ教室などもされておられます。

さらに、料理の指導にとどまらず、各人積み立てをして、レストランの食事会や日帰り旅行やハウステンボスなどの国内一泊旅行の企画にとどまらず、海外旅行の企画の時は、事前に念入りな下見を行い、現地での本格的なティーセレモニーの体験ができるように取り組むなど、障害者たちとの信頼関係を築き障害者の居場所づくり、生きがい作りに貢献されてこられました。

視覚障害者の方に教えるのは大変でしょうとお聞きしたところ、違いがあると意識せずに同じように教えているので苦労したと思ったことはないと言われたときには、自分の意識の低さに恥ずかしい思いをさせられました。

また、ご自分のことをザクバラに話される平本様のころもちが皆さんから信頼される大きな要素だと納得したのですが、10 年前に結婚されたご主人と今でも手を繋いで歩かれるほどラブラブですと言われたお相手のご主人が、私の前の職場での先輩とは知る由もありませんでした。後日平本様からお電話をいただき「主人が佐藤さんを知っていると言っているのかわかります。」と電話をかわっていただいて、はじめて、かつてお世話になった平本元さんだとわかりびっくり仰天した次第です。

● 報告の結び

本日の宮田様、平本様の、高齢者の方や障害を持っている方の積極的な社会参加につながり、生きる喜び希望を与える素晴らしい活動に対しまして心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

「宮田様」「平本様」の今後のご健勝と益々の御活躍を祈念いたしまして、第48回社会公益賞の選考経過報告とさせていただきます。

受賞者挨拶…宮田希子様

この度はこのような身に余る素晴らしい賞をいただきまして、誠にありがとうございます。心から厚くお礼を申し上げます。

私は平成13年に職を離れてから本格的にボランティア活動に力を入れるようになりました。元々人のお世話をすることが好きな性格だと思っております。自分の好きなことは楽しんでできる、進んでできる、ボランティアは私に適している、これから先に自分が安心して安全に暮らしていくことができる町づくりの為に、私の為に活動だと思えました。

私の活動については先ほど佐藤社会公益委員長様からもありましたが、主なことで、平成27年7月にサロンを立ち上げ、おしゃべり、適度な運動など、好きな所で好きなことをして一日楽しんでいただいております。「サロンに来ると実家に帰ったような気がする。気軽に習って好きにさせてもらえるけえ」、「サロンが待ち遠しい」など参加者の声を聞いて、やって良かったと思っております。サロンには健康寿命が延びる要素がふんだんに含まれており、本人はもとより家族の生活の質QOLの維持と共に、医療費介護費の増加が抑えられることにつながります。

サロンを続けている内に課題にも気づき解決することができました。一つは高齢者のちょっとした困りごと・不安に対してお手伝いできる体制「和木ふれあい支援隊」の創設。もう一つは緊急時に対応する為、日ごろから衣類など必要なものを一つにまとめて入れておく安心袋の配布です。

このような活動は、同じ気持ちで共に活動していただいた地域の仲間の協力や、三原市また社会福祉協議会等のご支援の賜物と思っております。この度の受賞も皆様のお陰と心から感謝しております。今後も少しずつの活動を積み重ねて参りたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

受賞者挨拶…平本眞弓様

平本眞弓と申します。今日は本当にありがとうございます。私は広島市中心身障害者福祉センターの方から推薦をいただきました。ここには開館当初から料理講師として40年近く通わせてもらいました。知能遅滞の子どもとお母さんの教室、聴覚障害の方、視覚障害の方の教室が毎月5~6回ありました。

自閉症の子どもは初め教室を出たり入ったり、じっといることが苦手でした。困ったなと思うこともたくさんありましたが、長く子ども達とつき合っていく内に、今は「先

生！ 先生！」と分からないことがあるとすぐに私を呼びに来ます。また私の最愛の母が亡くなった時には、子ども達みんなが「大丈夫？ 大丈夫？」と優しい言葉をかけてくれました。

また耳の不自由な方の教室には若い方もいて、パンとお菓子づくりを一緒にたくさんやりました。私は手話が出来なかったんですが、彼女達が身振り手振りで大きく口を開けて一生懸命声を出すようにしてくれたり、私に手話を教えてくれたりして、不自由を感じることなく一緒に美味しいパンやお菓子を作ることが出来ました。

お料理を教えてもなかなか家で実習するという方は多くは居ないと思いますが、必ず「家でも作りましたよ」と言う方は目の不自由な方々なのです。油を熱した中に手をサツとつけて天ぶらの温度を確かめます、という方もおいでです。こんな風に切りますよと言っても目が不自由だと分からないので、手を添えて「1 cm厚さに切ります」とか「右に〇〇がありますよ」というように、曖昧な言葉ではなくはっきりとした言葉で伝えます。

様々な障害を持つ方々と出会い感じたことは、みなさん障害に負けない強い心を持っているということです。お料理を通じて仲間ができ、この教室が心を通わせる癒しの場になればよいと思ってやってきましたが、私自身も楽しくて、皆さんがニコニコして、「ああ今日も美味しかった」と帰られる姿を見ると、目的は達成できたかなと思っています。

福祉センターに行かせてもらって良かったと思えることがいろいろある中で、はっきり自分が変わってきたことがあります。昔は「今ここで手を持ってあげればいいのになあ」と思っただけでも全く体が動きませんでした。今はたとえば駅やバスの中で困っている障害のある方を見かけると、言葉や手が自然にスッと出るようになったことです。不思議だなと思います。70 歳になって耳の聞こえが悪くなってきて、車の運転も自信がなくなってきて、福祉センターを辞めることにしましたが、これからは出会った方々を大切にお付き合いしていき、美味しいものを作って喜んでもらおうと思っています。

本日は時間を取って下さり、このように表彰をして下さり、私の大切な良い思い出になりました。本当にありがとうございました。